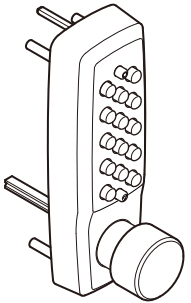
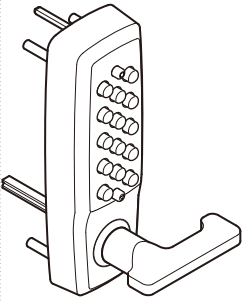
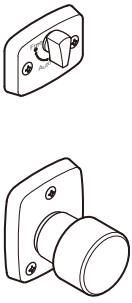
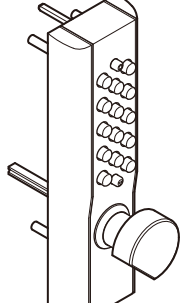
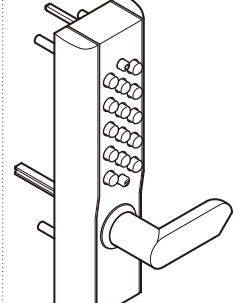
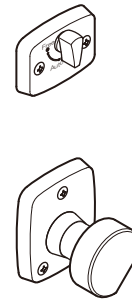
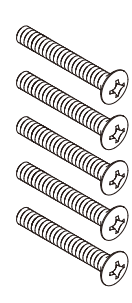
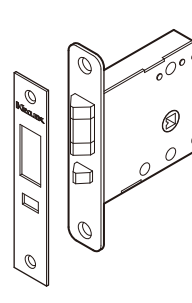
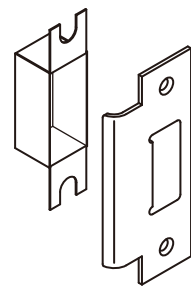
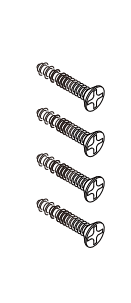
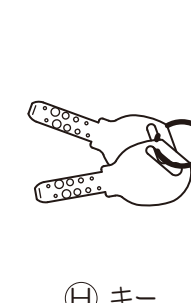


自動施錠 取付説明書

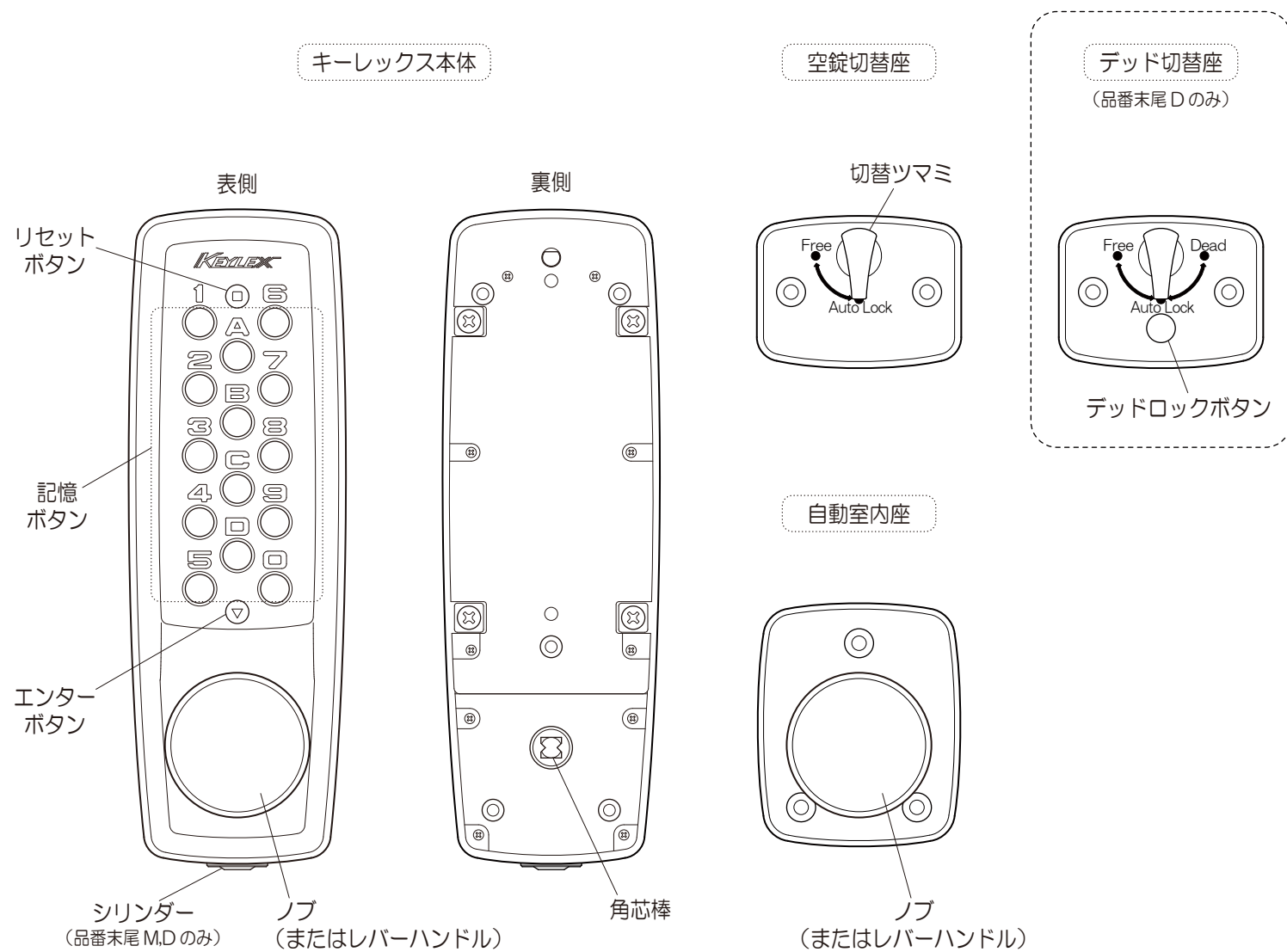
－ 22403, 22403M, 22403D, 22423, 22423M, 22423D －
 － 22603, 22603M, 22603D, 22623, 22623M, 22623D －

このたびは NAGASAWA 製品をご採用いただき、誠にありがとうございます
 製品を正しく取り付けいただくために、本説明書の内容をご確認ください
 引渡し時に、別紙取扱説明書（お施主様向）を、お施主様へお渡しください

梱包内容一覧・表を参照のうえ、部品の有無をご確認ください

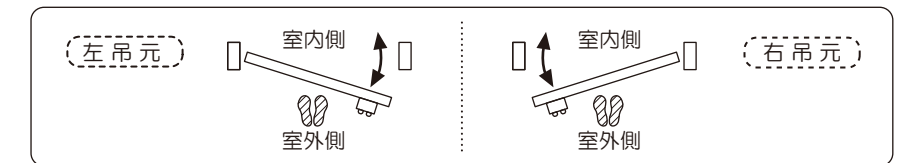
 Ⓐ KL 22403(M,D) 本体 1	 Ⓐ KL 22423(M,D) 本体 1	 Ⓑ KL2100 室内座 (各仕様対応) 1	 Ⓐ KL 22603(M,D) 本体 1	 Ⓐ KL 22623(M,D) 本体 1	 Ⓑ KL1100 室内座 (各仕様対応) 1	 Ⓒ 本体固定ねじ 長さ 35 mm 5	 Ⓓ ARS 錠 set 1	 Ⓔ 受座 set 1	 Ⓕ 錠・受座取付ねじ 長さ 25 mm 4	 Ⓖ 取扱説明書 set 1	 Ⓗ キー (品番末尾 M,D の G に同梱) 2
--	---	---	---	---	---	--	--	---	--	--	--

1 各部の名前： キーレックス 2100 での説明ですが、キーレックス 1100 も同様です

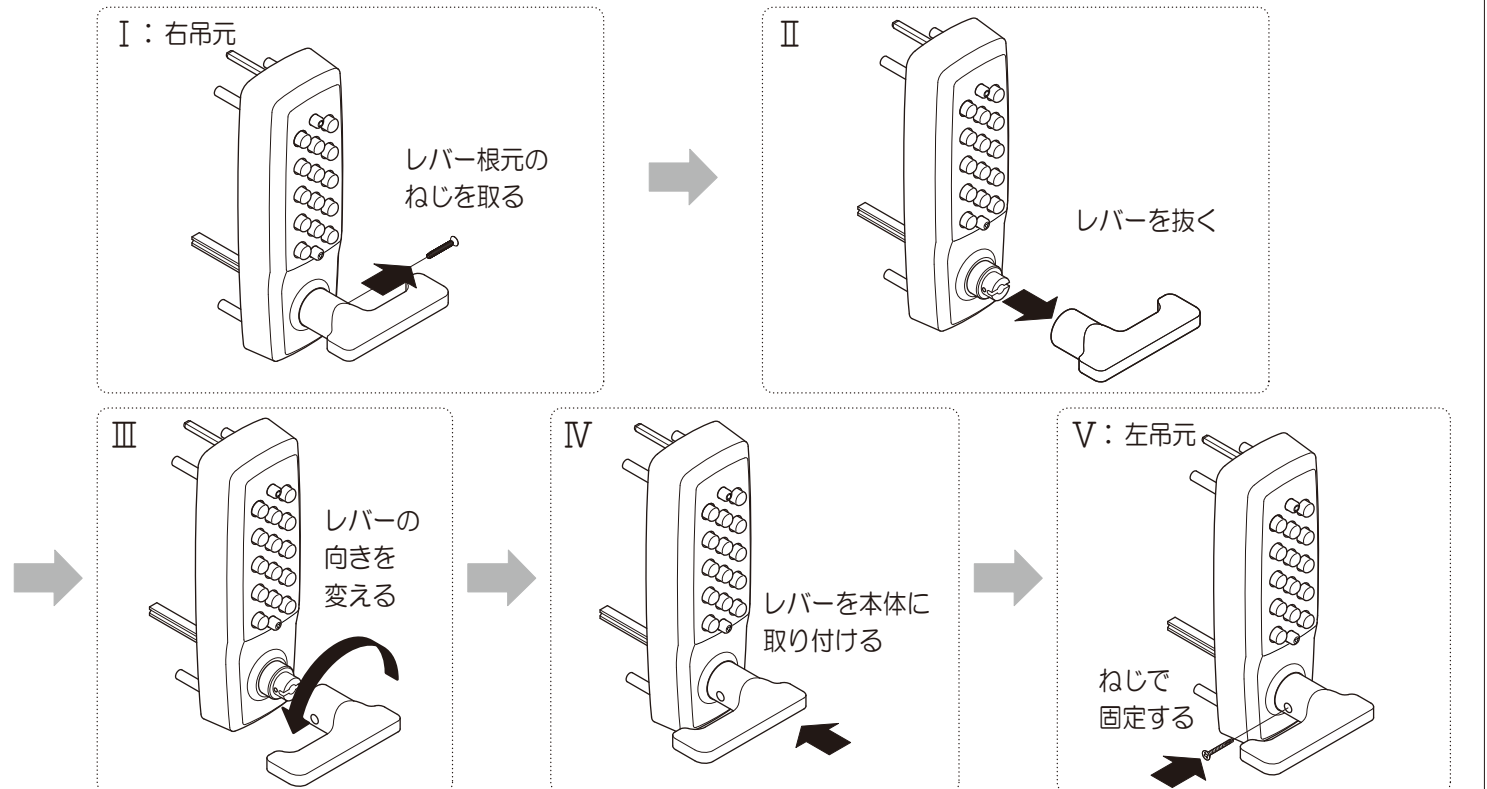


2 取付前の準備： 7 作動確認が終わるまで、扉は閉めないでください（クサビ等で扉を固定するとよい）

【1】扉の吊元の確認 キーレックス本体（ボタン側）から見て、扉の丁番が右か左のどちらについているかで判断します



【2】キーレックス本体の吊元対応 レバータイプの KL は左吊元時にレバーハンドルの向きを変える必要があります
 工場出荷時は右吊元位置に取り付けてあります
 左吊元時は、キーレックス本体と自動室内座のレバーハンドルの向きを変え固定します



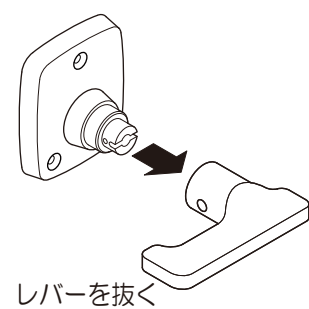
【3】自動室内座の吊元対応

自動室内座も左吊元時はレバーハンドルの向きを変えます

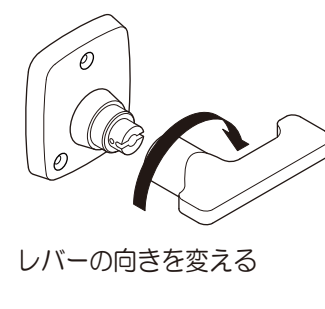
I：右吊元



II



III



IV：左吊元



3 扉への取り付け穴加工

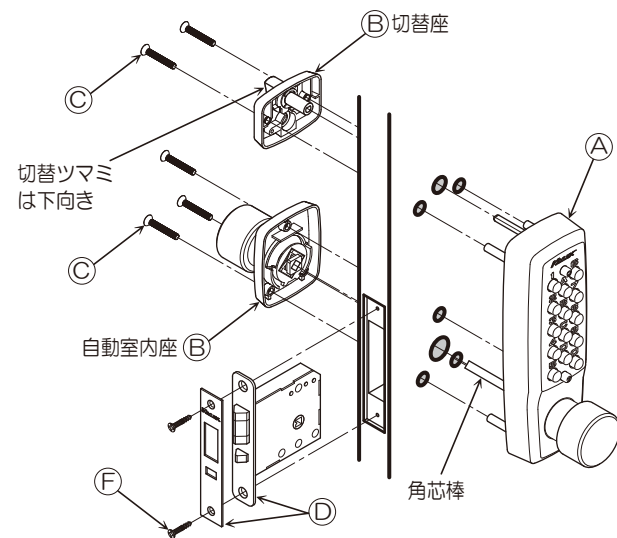
Ⓐキーレックス本体・ⒺARS 錠 set・Ⓕ受座 set の取り付け穴加工をします（別紙切欠図参照）

4 記憶番号の確認

Ⓐキーレックス本体にセットされている記憶番号を確認します。記憶番号を変更するときは、ここでおこないます
詳しくは取扱説明書の『記憶番号の変更手順』をご覧ください

5 ARS 錠・受座・キーレックス 2100（1100）の取り付け

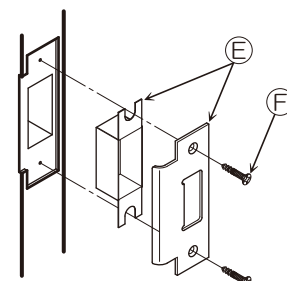
室内側



本図は右吊元仕様（左吊元は対称）

- I：ⒺARS 錠 set を、Ⓕ錠・受座取付ねじ 2 本で取り付けます
- II：Ⓕ受座 set を、Ⓕ錠・受座取付ねじ 2 本で取り付けます
- III：室外側にⒶキーレックス本体をセットします
- IV：Ⓐキーレックス本体の角芯棒を、ⒺARS 錠角穴に差し込みます
- V：室内側からⒺ切替座を、切替ツマミは下向きでセットし
Ⓖ本体固定ねじ 2 本で固定します
- VI：同様にⒺ自動室内座を、Ⓖ本体固定ねじ 3 本で固定します

室外側

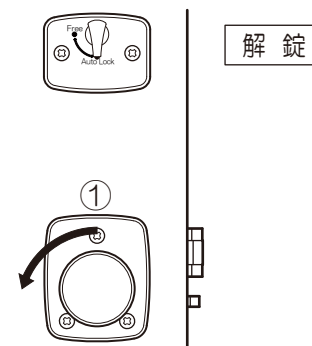


6 作動確認： レバーハンドルが作動しない場合は、② ③ ④ ⑤ をもう一度確認してください

7260003

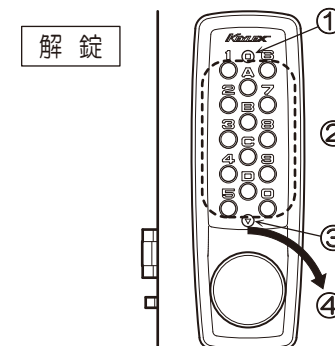
室内側

施錠：①扉を閉めると、自動で施錠されます（Auto Lock 時）
解錠：①ノブ（レバー）操作で解錠できます



室外側

施錠：①扉を閉めると自動で施錠されます（Auto Lock 時）
解錠：①リセットボタンを押し、②正しい記憶番号を押します
③エンターボタンを押し、④ノブ（レバー）操作で解錠
できます

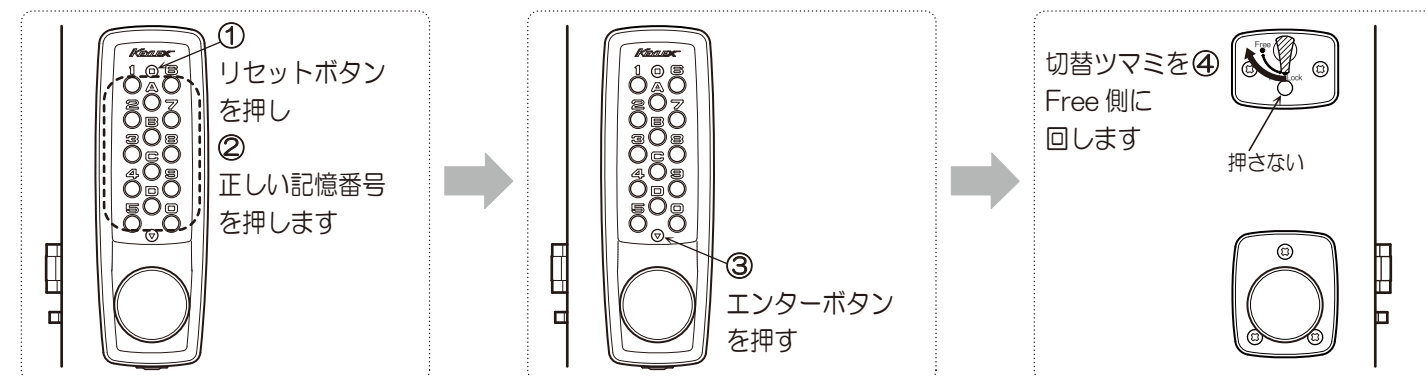


鍵付タイプ（品番末尾 M,D）の場合は、ボタン操作の代わりに、キー操作でも解錠できます

解錠：①シリンダーにキーを入れて回したまま、ノブ（レバー）操作で扉を開けます

7 空錠への切替： 自動施錠から、扉を閉めても施錠しない状態【空錠】にすることができます（Auto Lock から Free）

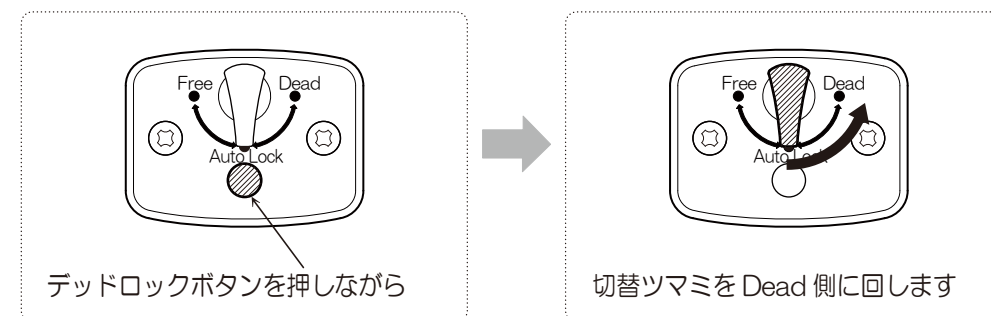
扉を開けた状態で操作します



空錠から自動施錠へは、切替ツマミを Free → Auto Lock へ回します（デッドロックボタンは押さない）

8 デッドロック機能： 解錠をキー操作だけに切り替えられる機能です

デッドロックボタンが付いているキーレックスの機能です。記憶ボタンによる解錠機能をロック【使用不可能】にすることで
解錠できる人員を限定でき、出入りを制限したい場所などに有効です



デッドロックから自動施錠へは、切替ツマミを Dead → Auto Lock へ回します（デッドロックボタンは押さない）

NAGA
SAWA

www.nagasawa-mfg.co.jp

株式会社 長沢製作所

東京支店 TEL. 03-5383-1811（代） 福岡出張所 TEL. 092-524-7031（代）
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032
大阪支店 TEL. 06-6783-5091（代）
FAX. 06-6783-5092